

単結晶X線構造解析装置用試料吹付低温装置

GN2-SN



【窒素抽出型】

空気中の窒素抽出型吹付低温装置であるため液体窒素が不要で長時間の連続運転が可能です。45日間以上の連続運転ができます。

試料吹付低温装置（液体窒素不要型）

単結晶X線構造解析装置用に開発された、液体窒素が不要な画期的な試料吹付低温装置です。大気中から抽出した窒素ガスを、極低温冷凍機を使って熱交換することにより低温窒素ガスを発生させ、吹き付ける方式です(特許取得済：登録番号3355258)。

測定途中に液体窒素の補給が不要ですので、データ収集に長時間を要する測定で威力を発揮します。

設定可能温度	93K(-180°C)～室温
低温ガス発生方式 (液体窒素不要)	大気中から抽出した窒素ガスを、極低温冷凍機にて熱交換させ、低温窒素ガスを発生させる方式
吹付ガス温度制御精度	±0.5K以内
吹付ノズル位置調整機構	X-Y-Z方向の調整機構付

本体サイズ：550(W)×605(D)×1293(H)mm

ユーティリティ：1φ AC100V ± 10% 50/60Hz 20A [30A]